

VM-60

ボイスメモリー 取扱説明書

★★★★特 長★★★★

- 4チャンネル合計の録音時間は最大60秒
- 各チャンネルの録音時間は可変!
- 高音質デジタルメモリーIC採用
- 外部コントロール端子により各チャンネルの再生が可能!
- マイク優先設計により再生中でもすぐにブレークイン可能!
- マイク変換コード方式により、各社無線機に対応!
(アマチュア無線・パーソナル無線共対応)マイク変換コード別売
- 外部電源(DC9~15V)または、単三乾電池4本のどちらでも動作
- モニタースピーカー内蔵

★★★★仕 様★★★★

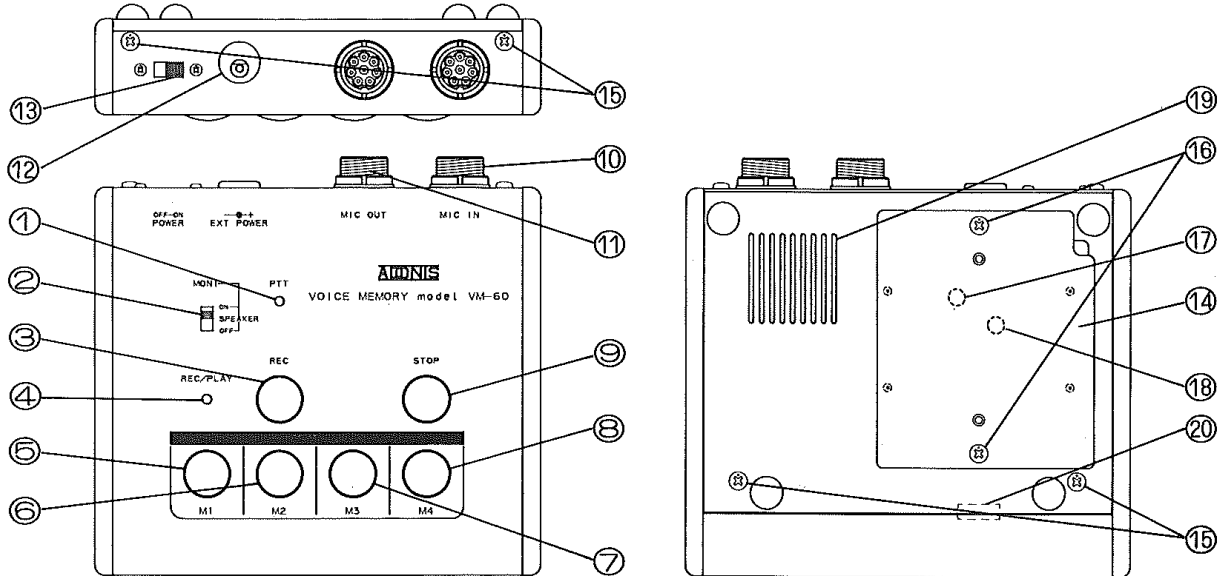
●IC	5	●消費電流(メモリー保持時)	最大150 μ A
●トランジスタ	5	(モニタースピーカー動作時)	最大100mA
●ダイオード	8	●録音時間	最大60秒
●入力ジャック(8Pアドニス配列)	1	●出力電圧	0~50mV(rms)
●出力ジャック(8Pアドニス配列)	1	●形状(突起部含まず)	33(H) \times 151(W) \times 141(D)mm
●適合出力インピーダンス	500 Ω ~100k Ω	●重量	550g
●電源電圧 単三乾電池にて供給の場合	4本		
外部電源にて供給の場合	DC9~15V		

ADONIS 株式会社 **アドニス電機**

本 社 〒576 大阪府交野市星田北1丁目38番15号
TEL(0720)93-3111 FAX(0720)91-2240

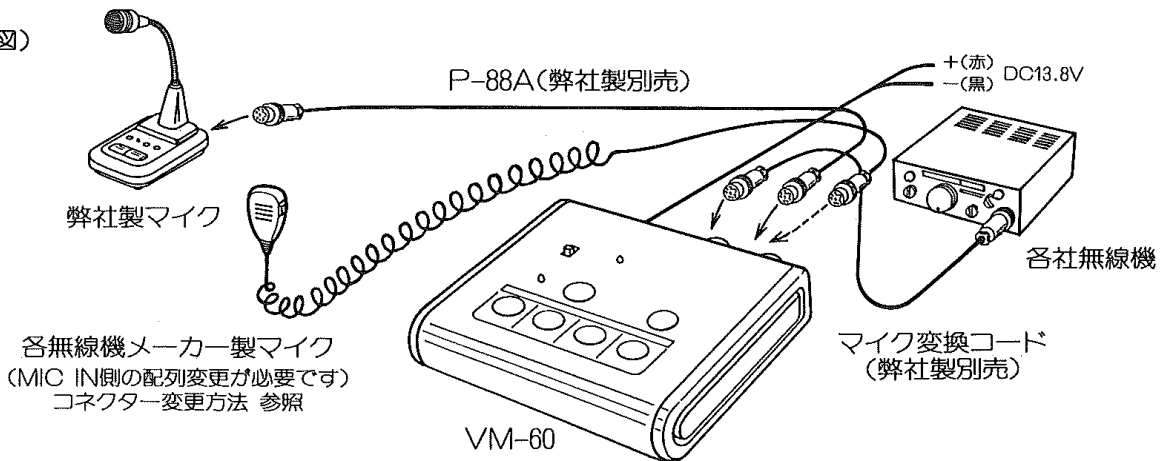
このたびは、アドニス電機のボイスメモリー“VM-60”をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
 この“VM-60”は、最大60秒間音声をデジタル録音できるアダプターです。
 ご使用に際しましては、本機の性能を十分に発揮させていただく為この説明書をよくお読み頂き、未長くご愛用
 くださいますようお願い申し上げます。

●各部の名称(1図)



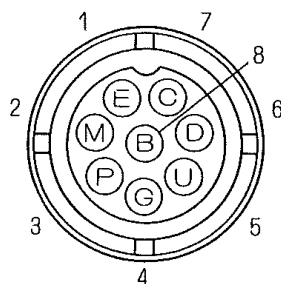
- | | | |
|----------------------|------------------|---------------------|
| ①PTT表示LED | ⑨チャンネル4ボタン | ⑮裏ボタン取り付けネジ4本 |
| ②モニタースピーカーON/OFFスイッチ | ⑩STOPボタン | ⑯電池ボタン取り付けネジ2本 |
| ③RECボタン | ⑪8P入力ジャック | ⑰出力レベルボリューム |
| ④REC/PLAY動作表示LED | ⑫8P出力ジャック | ⑱モニターボリューム |
| ⑤チャンネル1ボタン | ⑬外部DCジャック(9~15V) | ⑲モニタースピーカー |
| ⑥チャンネル2ボタン | ⑭電源スイッチ | ⑳5Pコネクター(外部コントロール用) |
| ⑦チャンネル3ボタン | ⑮電池ボタン | |

●接続方法(2図)



- VM-60の入出力ジャック⑩⑪は、共に8Pアドニス配列になっておりますので、2図のように無線機と本体、マイクと本体の間にそれぞれ適合するマイク変換コード(弊社製別売)を接続してください。
- 弊社以外のマイクをご使用の場合は、コネクター変更方法を参照の上、ご希望のメーカー配列に変更してください。
- ハイインピーダンス(10kΩ以上)のマイクロホンをご使用の場合はチューブで覆った抵抗を外してください。(5図参照)

●8Pアドニス配列(3図)
 (ピン側から見た図)

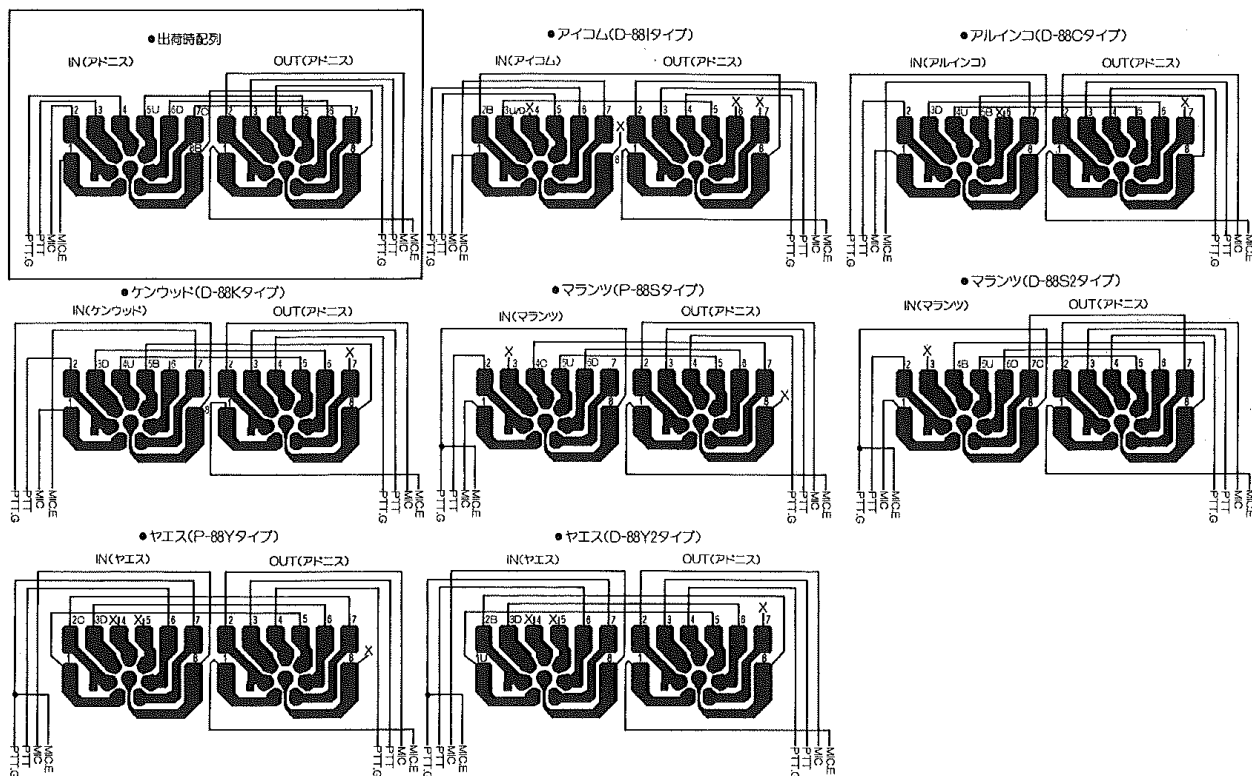


- | | |
|---------------------|-------------|
| ①E : アース(マイク信号用)... | シールド |
| ②M : マイク信号 |黄 |
| ③P : PTT(プレストーク) |赤 |
| ④G : アース(PTT用) |紫もしくは青 |
| ⑤U : UP(アップ) |緑 |
| ⑥D : DOWN(ダウン) |白 |
| ⑦C : U/Dコモン |橙 |
| ⑧B : DC給電(+極) |灰 |

●コネクタ変更方法(裏ボタン取り付けネジ⑩4本を外して裏ボタンを開いてから作業を行ってください。)

入力側コネクタのプリント基板上的配線は、出荷時アドニス配列になっておりますので、ご使用になるマイクに合わせて入力側のみ変更してください。その時、配線の都合で不要になった線は取り除いてください。

(4図)



使用方法

①録音の方法

- チャンネル1から順番に録音してください。チャンネル番号の大きい方を先に録音すると後から録音したチャンネルが次の番号のチャンネルを消します。
- RECボタン③と録音したいチャンネルボタン⑥～⑧をREC/PLAY動作表示LED④が点灯するまで同時に押してください。録音が始まります。又、録音中は送信になりません。
- STOPボタン⑨を押した時点で録音が停止します。
各チャンネルは最大60秒まで任意の時間録音ができます。ただし各チャンネルの合計時間が60秒になった時はSTOPボタン⑨を押さなくても自動的に録音は停止します。その時未使用チャンネルがあってもそのチャンネルには録音できません。
- 録音済みの1~4チャンネルを書き替える場合、前に入っていた録音より短い場合は可能ですが長い場合は次のチャンネルが消えます。
- 録音した内容はモニタースピーカー⑩で再生して確認してください。

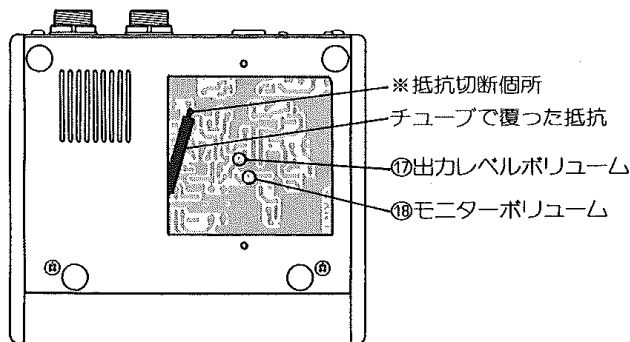
②再生の方法

- 再生したいチャンネルボタンのみを押してください。再生と同時にPTT表示LED④が点灯し送信になります。
- 録音内容のモニターはモニタースピーカー⑩のON/OFFスイッチ②をONにしてください。本機で録音した内容が底面のスピーカでモニターできます。モニターしない時はOFFにしておいてください。モニター音量は5図の様に電池ボタン取り付けネジ⑩2本を外してから電池ボタンを開けて基板面のモニターボリューム⑩で調整できます。
- 再生中にSTOPボタン⑨を押した時点で再生が停止し、送信も停止します。
- 再生中にマイクのPTTをONにするとただちに再生を中止しブレークインする事ができます。又、各チャンネルの再生は外部(パソコン等)からもコントロールする事ができます。(⑧外部コントロールの方法8図参照)
- 再生中に次の再生チャンネルボタンを再生中のチャンネルの終了まで押し続けると、続けて次のチャンネルを再生する事ができます。

(5図)

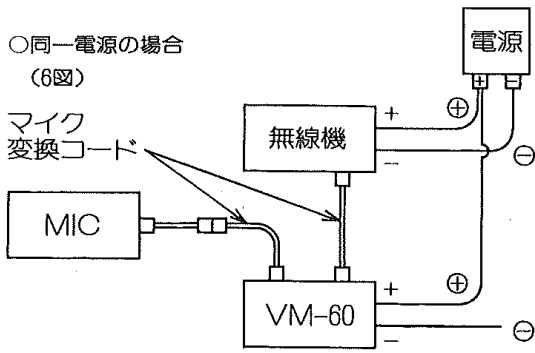
③レベル調整の方法

本機の入出力レベルは、0 dBにしてありますので基本的には現在ご使用中の無線機とマイクロホンの間に入れるだけでそのままご使用になれます。ただし出力レベルについては5図の様に電池ボタン取り付けネジ⑩2本を外してから電池ボタンを開けて基板面の出力レベルボリューム⑩で調整できます。本機に接続されているマイクは、本機を接続する前と全く同様に使用できます。

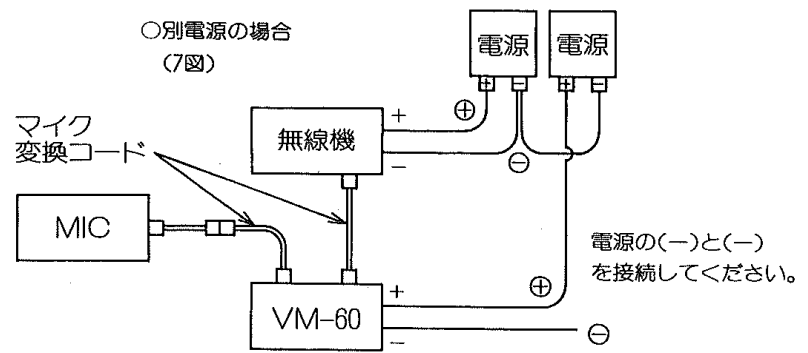


●メモリーバックアップ及び外部電源について

- 本機の電源スイッチ⑩をOFFにしますと、各CHの内容は約30分後に消えます。
- 本機の消費電流は、メモリー保持時(録音・再生又は外部マイクを使用しない時)に約150μAです。
これは、普通の単三乾電池4本を使用された場合で、電池の寿命は約2ヶ月です。コンテストなど長時間ご使用の場合は新しい電池と交換していただくか外部電源をご使用ください。
- 電池を交換される場合は、古い電池を外しても30分以内であれば各チャンネルの内容は保持されます。
- 外部電源をご使用になる場合は、DC9~15V、100mA以上の電源をご使用ください。DCジャックの極性は外側が(-)内側が(+)
- 外部電源をご使用になっていても各チャンネルの内容を保持したい場合は電池を入れてください。外部電源をOFFにした時は本機の電源スイッチを切らずにDCプラグをジャックから抜いておいてください。プラグを挿入されていますと電源が内部電池に切り替わりませんので約30分でメモリー内容が消えます。



(-)線は接続しないでください。



(-)線は接続しないでください。

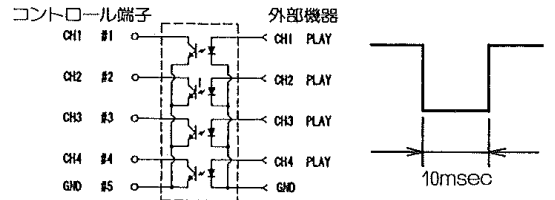
電源の(-)と(-)
を接続してください。

上記の接続方法でご使用ください。特に無線機と同一電源でご使用になる場合に(-)を接続されますと回り込みを起し易くなります。

●外部コントロールの方法

本機のコントロール端子は5Pコネクター⑩に出力されていますのでコントロール信号を接続される場合は、5PEHコネクターをご用意ください。なお、パソコンや他の機器からコントロールされる場合は、回り込みやノイズによる誤動作がないように、リレーやフォトカプラーでアイソレーション(グラウンドの分離)の工夫をしてください。右図(8図)は実施例を示しています。(参考回路)

(8図) シャープフォトカプラーPC847又は同等品



通常はオープン(の各チャンネル端子(8図の場合、コントロール端子#1~4)をグラウンドレベルにする事により再生します。グラウンドホールド時間は10msec以上にしてください。

回り込み対策について

ハイパワーで送信した場合変調が異常になったりバリバリという音が混入したり、その他の雑音が増すことがあります。その場合アンテナと同軸ケーブルとの整合が悪く、定在波がマイクコードに乗ることが考えられます。従って、マイクコードの引き回し方を変えると良くなる場合があります。特に同軸ケーブルと平行にしないようにしてください。また、アンテナと送信機とのSWRをチェックしてみてください。

ご注意とお願い

- 付属SPでモニターされますとクロック音(約4KHz)が聞こえますが、送信機の変調帯域外ですので、相手には聞こえません。
- 電池による運用で再生(モニタースピーカーON)を多用されますと電池の消耗が早くなります。
- 故障の原因となりますので、VM-60本体には強い衝撃を与えないでください。
- 弊社製以外のマイク変換コードを使用すると正しく動作しない場合がありますので、必ず弊社製を使用してください。弊社製以外のマイク変換コードの使用によるトラブル、故障等については一切の責任は負いませんのでご了承ください。
- 直射日光の当たる場所や高温になる場所での使用および放置は、変形・変質を招き本機に悪い影響を与えますので工夫して高温を避けるようにしてください。
- 本体内部は調整されていますので、不要な改造・調整はしないでください。
- 性能改善の為、予告なく仕様及びデザイン等を変更する場合があります。

【アフターサービスについて】

お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬上の事故などに伴い、ご不審な箇所、または破損などのトラブルがありましたら、お早めにお買い上げいただきました販売店、又は弊社に保証書を添えてお申し付けくださいますようお願い申し上げます。